

(154) 栃木県日光市長畑の遠入(とiri)鉦山跡

参考文献(1)、(2)、(3)を手引きに、本鉦山跡の探査を岩友と行った。参考文献(1)中の本鉦山に関する箇所を資料として最後部に添付している。参考文献(2)では、わずか4行で本鉦山の紹介がなされている。それには「・・・鉦石は主として方鉛鉦、閃亜鉛鉦、黄銅鉦、黄鉄鉦など・・・」の記述がある。参考文献(3)には上都賀郡内の鉦山分布図が掲載されていた。この分布図は本探査記の「(103) 栃木県上都賀郡の鶏鳴鉦山跡」の最後部に資料として添付している。この図には、予想される遠入鉦山跡付近に銅の鉦山記号が記されている。これも参考とした。

1回目の探査は空振りであった。次回は、各沢での鉦物転石を探すことにした。

本鉦山の2回目の探査で、沢での探査後、やはり現地の住民の方に鉦山の話ができる人がいるかもしれないとして、現地付近のお宅を訪ね、2軒目の”邸宅”で年配の女性から、鉦山について話を伺うことができた。感謝である。参考文献では、付近を歩き回るしかなかったが、女性の昔話通りに、その付近に坑口跡を確認した。しかし、坑口は完全に埋没しており、坑口は確認できなかったが、人口的に大きく山斜面を切り崩していたこと、その付近に薄いながら黄鉄鉦の露頭鉦脈を確認できたことで、遠入鉦山跡と判断した。

現地への経路は図1に示している通りである。著者等は鶏鳴鉦山探査時と同じく、下小代駅から車で出発したが、図1からわかるように明神駅、或いは北方の今市当たりからも現地には行けよう。下小代駅からは70号を北北西方向に進み、遠入地区に入る。後は写真1などを参照すること。

探査日 2018年1月、3月

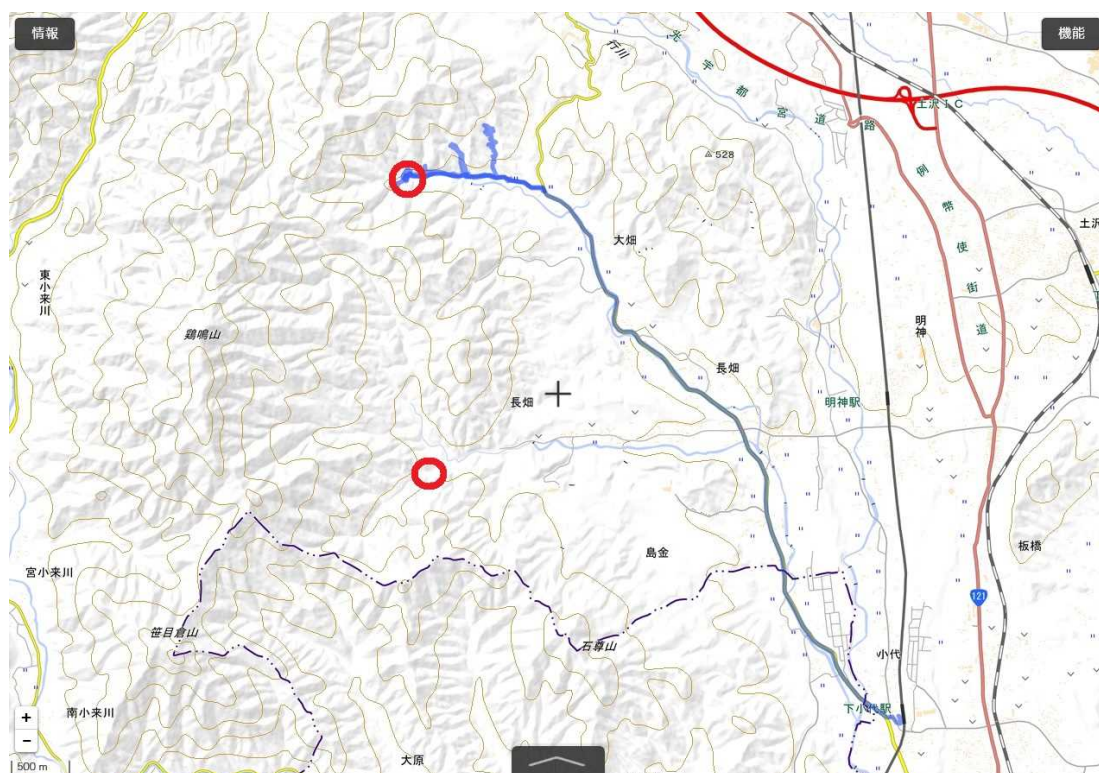


図1 青色曲線でガーミンの経路ログを示している。出発点は東武日光線の下小代駅である。上の赤丸が遠入鉦山跡である。なを、経路途中の長畑の信号のある交差点を左折していくと、その先には、本探査記で既に紹介している鶏鳴鉦山跡がある。下の赤丸の位置である。最近、鶏鳴鉦山の本坑と判断できる坑口跡を、岩友の力で確認することができた。本坑は沢水準にあり、もう少しで埋もれてしまうかもしれない。参考文献によれば、本坑は1kmも掘り進んだ。とすれば、大量のズリがあるはず。まだ確認はできてはいない。この本坑については、機会あれば「鶏鳴鉦山」の項に追記するであろう。

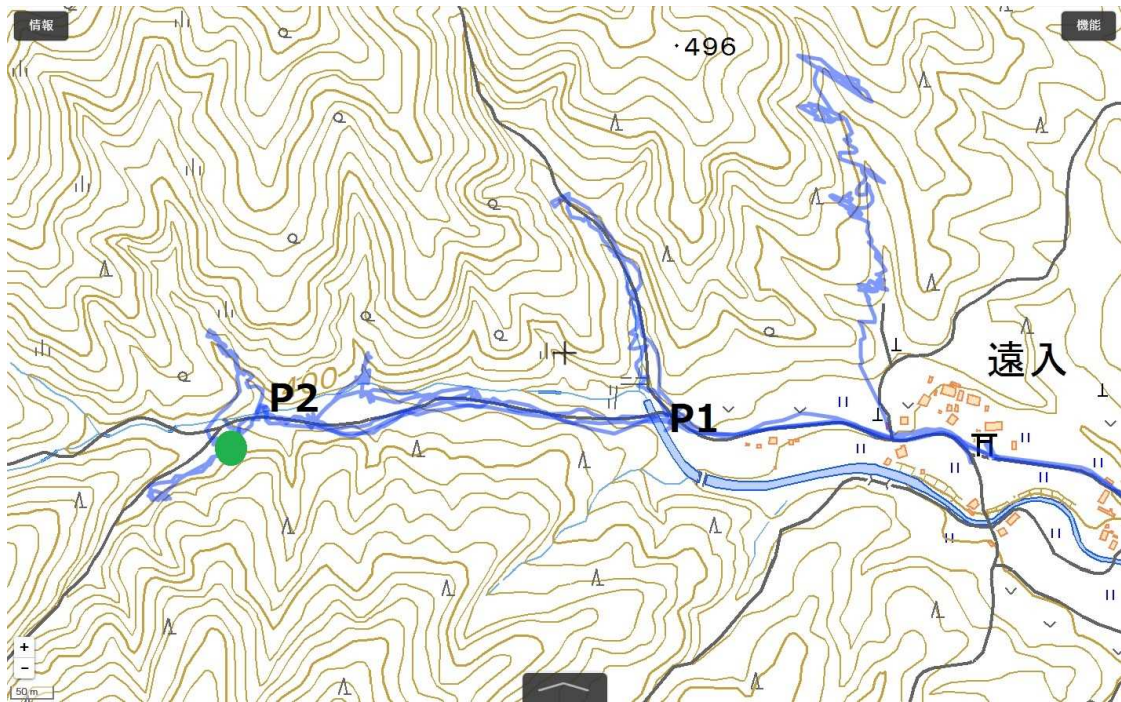


図2 図1の部分拡大図。沢をあちこち動き回っているのがわかって。この付近であると見込みをつけ、沢での鉱物転石、あわよくば坑口跡を求めての結果である。右端の神社記号付近の旧家らしい大きな家で、年配の方に鉱山についての話を聞くことができた。そのおかげで確認できた坑口跡を黄緑丸で示している。なを、P1とP2は車を駐車させた位置。地質調査所の地質図からは、この当たり一帯は古生層の付加体である。参考文献では古生層と花崗岩との接触部にできた鉱床であるとの記述がある。この付近には地質図には記述していない花崗岩の部分的露出部があったのであろうと考えている。

鉱山跡写真



写真1 下小代駅から長畑川に沿って北北西方向に進んで、遠入地区に入る。直に左手に石碑公園がある。この先のところから左手に延びている村道に入り、西行して行く。道幅は狭い、車一台程度である。

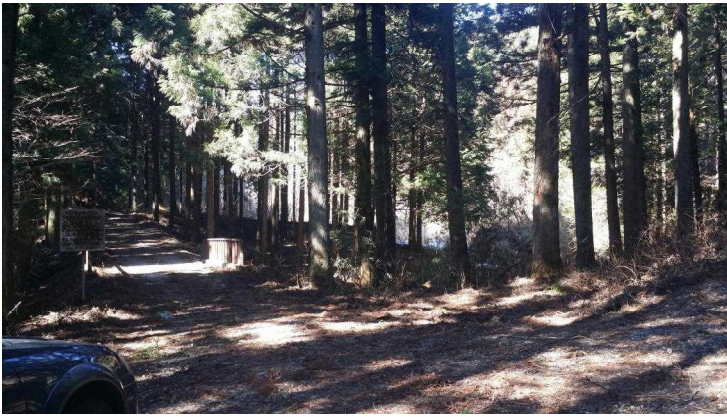


写真2 図2中のP1点である。車を駐車できる余裕がある。左手にある橋を渡っていく。ここより先に車で行くならば、4WDを勧める。不安ならば、徒歩で進む。



写真3 図2中のP2点である。ここも数台なら駐車できる。この日はまだ日陰に残雪が残っていた。前方約100m程先に短い橋がある。その左側先に坑口跡を確認した。

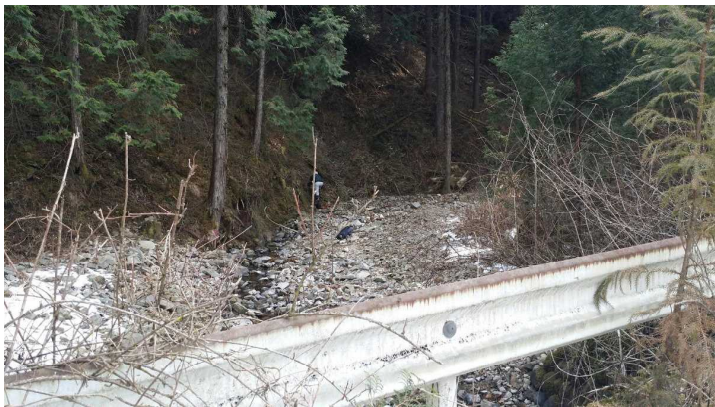


写真4 短い橋の上から坑口跡を見る。岩友の背中が見えている場所。

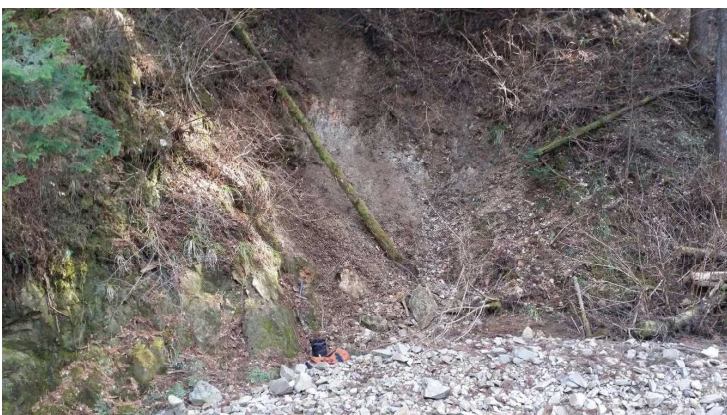


写真5 坑口跡と判断した沢水準の斜面の様子。入口は大きく崩壊していたが、一帯の形状から坑口跡と判断した。左手の岩盤に露頭脈を確認した。



写真6 露頭脈にハンマーを入れた。割り採った標本をハンマーの頭と比較しての一葉。

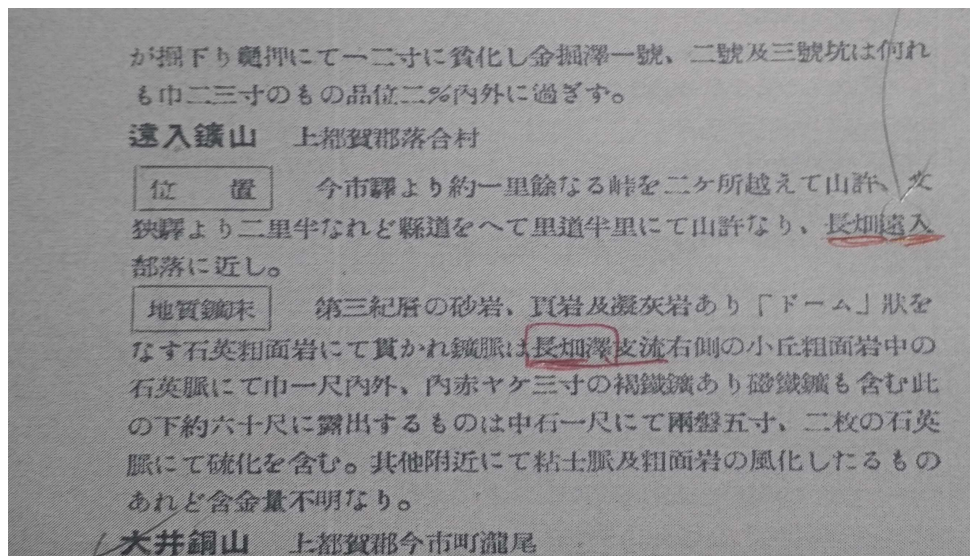
採集鉱物写真



写真7 採集した標本。灰色部分には細かい黄鉄鉱の結晶がみえる。それほどの富裕鉱ではない。坑口位置を確定できたので、付近をじっくり探査すれば、それなりの標本を採取することができるであろう。参考文献（1）には付近に多くの脈があった様子が書かれているので。黄鉄鉱以外の鉱物も多数あったようである。

参考文献

- (1)「東京鉱山監督局内 金属鉱山」(興行業書第三編)、小山一郎、鉱業社発行、昭和15年。
以下が、この文献中の遠入鉱山についての記述である。



- (2)「日本地方鉱床誌 関東地方」、今井、河井、宮沢 編者、166頁、朝倉書店、1973年。
(3)「栃木県上都賀郡内鉱山調査報告」、中沢、物部、地質調査所、昭和28年(1953年)。鉱物資源資料No. 2194。